

報道関係者各位

2019年12月4日

## Space BD、JAXA より我が国基幹ロケット H-IIA/H3 を用いた 相乗り超小型衛星打上げ機会の提供事業における 民間唯一のサービス事業者に選定

Space BD 株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：永崎将利、以下”Space BD”）は、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）より、H-IIA 及び H3 ロケット相乗りによる超小型衛星打上げ機会の提供事業（以下”本事業”）の民間事業者選定公募において民間事業者として選定され、基本協定を締結いたしました。

本事業において Space BD は、我が国基幹ロケットとして世界トップレベルの打上げ成功確率、ならびに、打上げ時期・放出軌道の正確性を誇る H-IIA、およびその次世代機となる H3 ロケットに関し、「JAXA 主衛星打上げ時の、相乗り枠の利用権」を唯一の民間事業者として保有することとなり、国内外でのユーザー開拓と技術インテグレーションサービスの提供を行います。



Space BD はこれまでに、JAXA による民間開放案件である [国際宇宙ステーション日本実験棟「きぼう」](#)（以下”「きぼう」”）からの [衛星放出事業](#)、及び [「きぼう」船外実験設備利用事業](#) においても民間事業者として選定を受けており、当該2事業において合計17件の打上げサービス案件を受注しています。

今回の選定を契機に、大型ロケットによる衛星打上げサービス事業を本格的に始動し、国内外のユーザーへ、より多様な打上げ手段の提供を実現すると同時に、「きぼう」及び基幹ロケットをはじめとする本邦宇宙資産の価値最大化に向けた取り組みを加速していきます。また、大型ロケットの利活用は、これまでの太陽同期軌道等の地球低軌道や、静止軌道への衛星打上げのみならず、月周回および月以遠への衛星打上げも可能となります。当社はこれら機会の利用促進により、来るべき深宇宙開発の取り組みにサービス事業者の立場から積極的に貢献していきます。

代表取締役社長 永崎 将利のコメント



「当社は宇宙商社®として、『宇宙の産業化』に事業開発の側面から貢献することを使命に、日本発で世界を代表する企業、産業を目指して事業を進めています。欧米企業の寡占状態となっている超小型衛星打上げサービスのグローバル市場において、日本の打上げ手段の最大活用を前提とした世界のトップグループ入りを目指す当社は、我が国基幹ロケットの商業利用を担う本事業においても、ベンチャー企業ならではのコミットメントとスピード感により、ユーザーフレンドリーなサービスを確立し、多くのユーザーへの貢献と我が国宇宙資産の価値最大化に邁進してまいります。」

\*\*\*

当社打上げサービスの利用に関するお問い合わせ

Space BD 株式会社 ローンチサービス事業本部（担当：大野）

Mail : [k.ohno@space-bd.com](mailto:k.ohno@space-bd.com)

Tel: 03-6264-7177

当プレスリリースに関するお問い合わせ

Space BD 株式会社 コーポレート本部 広報（担当：原）

Mail: [m.hara@space-bd.com](mailto:m.hara@space-bd.com)

Tel: 03-6264-7177

■ Space BD 株式会社について

宇宙商社®である Space BD は、2017年9月の設立以降、「宇宙の産業化」を加速していくことをミッションに掲げ、衛星打上げサービス、国際宇宙ステーション（ISS）の日本実験棟「きぼう」を活用した宇宙空間での実験サービス、宇宙関連機器調達販売サービス、プロジェクト型事業開発サービス、宇宙飛行士訓練方法を活用した教育事業等、幅広い事業を国内外で展開しています。

[www.space-bd.com](http://www.space-bd.com)